



私たちは花が好き。緑が好き。人が好き。

園芸福祉ふくおかネット

No.47

2018年3月号

ネット通信 花 便 り



「一人一花」運動用のベストを着用、福岡市役所玄関花壇の管理をしています。

目 次

楽しかった人？はーい！	P2～P3
園芸福祉の庭	P4
福岡市役所玄関花壇の管理について	P5
「ひがしフェスタ」に行ってきました。	P6
恵子児童館クラブの活動	P7
HAPPY を呼ぶ！ プリザーブドフラワー・アレンジ	P8
地域における園芸福祉	P9
新部会を立ち上げます。	P10
総会のご案内	P10
「癒しのこけ玉体験教室」のご案内	P10
ジャケットを貸与から個人所有に変更しました！	P11
春の訪れ	P11
事務局からのお知らせ	P12

楽しかった人? はい!

谷口 博隆

福祉園芸体験事業は、花あふれるふくおか推進協議会の事業（国産花卉イノベーション事業：農林水産省）です。私たちは県内の生産者が育てた花苗を活用してハンギングバスケット作品を完成させるメニューに平成27年度から取り組み、この体験に参加された方々に「楽しかった人?」と聞くと「はい!」と、手を挙げられた皆さんの笑顔に励まされ3年間継続して実施しています。

平成29年度は、県内5か所の高齢者福祉施設で、利用者の孤立感の解消や心身機能の維持、生活機能向上、グループ活動等に対応できるメニューとして実施しました。



見本作品



特別支援学校の展示状況

また、特別支援学校3校では、生徒の経験を広

めて積極的な態度を養い、社会性

や豊かな人間性を育む、生徒に基礎的な知識・技術の習得、感動する心を育むなどの一助として、ハンギングバスケット作品づくりを行いました。制作する工程を生徒の障がいの種類や程度を先生方と協議し、成功体験に結び付くように、楽しかった一

と心から感じてもらえるように配慮しながら取り組みました。これは園芸福祉の理論にも合致しており、大変やりがいのある社会貢献事業であると自負しております。これには園芸福祉士でハンギングバスケットマスターの黒瀬恵子さんを指導講師に、園芸福祉士の栗木トシ子さん、山崎博子さん、初級園芸福祉士の井上妙子さん、金澤美恵子さん、田中節子さん、濱崎真人さん、二俣はるみさん、米倉治美さん達が講師として参加しました。

高齢者福祉施設での作品づくりは、バスケットにあらかじめ8ポットのビオラを植付けておいて、仕上げに4ポットを植付け、用土を入れ、ミズゴケで用土を覆って完成です。

これは茎が細いビオラを使っているのので、折れると「失敗したー!」と挫折感を味あわないで、きれいに完成して達成した喜びを楽しめるようにと作業工程に配慮しました。作品が完成した嬉しさを唄と手拍子で表現してくれた参加者もあり、体験された方々は皆さん笑顔でした。

特別支援学校では、障がいの程度によって高齢者と同じ方法での作品づくりとスポンジを貼ったバスケットにビオラを12ポット植付けて完成させる難易度の高い違う2つのタイプを実施しました。



高齢者福祉施設での体験状況



高等聴覚特別支援学校では手話通訳を介しての作品づくりを行いました。体験した生徒の提案で一緒に給食をいただきました。数十年ぶりの給食はとてもおいしかったです。食事中に生徒が教えてくれる手話で会話を楽しみながらの正に手習い！お互いに福祉的体験を実感することが出来ました。また別の特別支援学校では、生徒は車いす利用でそれぞれに先生が介助についてあり、体験の初めはとても緊張して強張っていた生徒が作品づくりが進むにつれ、次第に緊張も解れて時折笑顔が見られるようになると先生方は作品と生徒の笑顔写真を沢山撮ってありました。作品が完成すると楽しかったのだろう、得意気に、嬉しそうに微笑んだ瞳は輝いて美しく、その姿に感激して涙腺が緩んでしまい、「楽しかったねー、あ・り・が・と・う」と言うのが精一杯でした。



特別支援学校での体験状況

皆さんが完成されたハンギングバスケット作品は、それぞれの施設のフェンスなどに展示されて5月中旬までの半年余り、施設利用者や職員、地域の皆様とのコミュニケーションアイテムとして、また施設や地域の景観向上の一翼も担って、美しく咲いています。



高齢者福祉施設の展示状況

クリスマスやお正月、学校訪問や保護者会、卒業式や入学式など各施設でのイベントでも多くの方々にご覧いただき福祉園芸効果を発揮しています。

この事業の追跡調査アンケートでも福祉園芸の効果が数値として如実に表れており、次年度も福祉園芸体験事業を園芸福祉士としてプライドを持って推進したいと考えています。

(注：文部科学省の学習指導要領を参考資料としています)。

お疲れ様でした！

福祉園芸体験に参加する講師たちは、午前中からハンギングバスケットの体験ができるよう準備を行ない、午後から始まる体験、そして後片付けまで一日がかりです。これは片付けが終わり、各自アンケートに記入しているところ。講師の皆さま、一日中お疲れさまでした。



園芸福祉の庭

黒瀬 恵子



①車椅子利用の人たちと一緒に楽しむ花壇
(レイズドベッド)



②子どもたちと一緒に楽しむ花壇



ストレスを解消する花壇

ていたネモフィラを見つけ、花壇の縁取りにと移植していました。翌日は雨、ネモフィラも根付き、より楽しい花壇になってくれることでしょう。

2月の定例作業日が雨だったため、3月4日(日)に作業を行ないました。

この日は春の陽気、レイズドベッド(立ち上がり花壇)の花を眺めている車椅子利用者の方にも出会えました。

私達が園路沿いの花壇を手入れしていた時、「あれは草を取っているんだよ」「草を取ると花がきれいに咲くんだよ」という声に振り返って見ると、若いお父さんが小さな女の子と手をつないで散歩をしていました。その微笑ましい光景ときれいに咲いている花が、私たちの心まで暖かくしてくれました。

今回は2つのテーマ花壇をご紹介します。

①車いす利用の人たちと一緒に楽しむ花壇
(レイズドベッド)

主な植栽植物：パンジー、斑入りスーパーアリッサム、ビオラ、大輪バコパ。

園芸福祉の庭を訪れると、2基のレイズドベッド(立ち上がり花壇)が目に入って来ます。庭の中心のベッドで咲いている黄色のパンジーがひと際目を引きまします。レイズドベッドは、植栽部が浅く、土は20cmにも満たないくらいしか入りません。そのため、わずかな深さでも植物の根が張るよう、用土に配慮がされています。植物を育てる土がどんなに大切かと言うことをきれいに咲き誇った花たちが教えてくれているようです。

②子どもたちと一緒に楽しむ花壇

主な植栽植物：ビオラ、スイートアリッサム、冬知らず、八重咲きストック、カルーナ、ジギタリス、キンギョソウ、セントーレア。

アイランドシティ中央公園のメイン園路沿いにある花壇です。昨年11月の植栽に携わった会員が、「子どもたちも楽しめるように」と、会員達も楽しみながらデザインをしていました。

こびとや動物などの可愛いオブジェも設置されています。花壇のあちこちに生え



高齢者の人たちと一緒に楽しむ花壇

福岡市役所玄関花壇の管理について

黒瀬 恵子



前回発行の花便り (No. 46) でご紹介した福岡市役所玄関花壇の管理は、谷口代表が一般社団法人福岡市造園建設業協会より依頼を受け、基本協定を締結し、正式に園芸福祉ふくおかネットが年間を通して管理することに決まりました。花壇管理のスタッフは定例会やメールで募集し、代表を含む 11 名の会員が年間を通して行うことになりました。

今年から、福岡市では市民や企業一人ひとりが花と緑を育て、彩りや潤いにあふれ、おもてなしと豊かな心が育まれるまち「フラワーシティ福岡」を創る取り組みとして、「一人一花」運動が始まりました。福岡市役所の玄関前にある花壇を管理する私達スタッフは、「一人一花」運動を普及させながら、～花と緑があふれ、豊かな心が育まれるまちへ～を合言葉に私たちの福岡市が花いっぱいの美しいまちになるよう活動していきたいと思っています。



3月6日、「一人一花」のロゴ入りベストを初めて着用し、谷口さん、井上さん、黒瀬の3人で作業に入りました。作業は

9時から11時までの2時間。「一人一花」のロゴ入りベストが早速人目を惹き、「facebook にあげても良いですか」と出勤途中の男性から声をかけられました。通行人からは「花は良いですよー」「あると無いとじゃ大違い」と気軽に話しかけられ、思わず「花は良いですよー」と答え、お互いが笑顔になっていました。3月に入り寒も緩み、花壇の作業がより楽しいものになって来ました。



『ひがしフェスタ』に行ってきました。

米倉 治美

園芸福祉ふくおかネットの副代表辻 和弘先生が教壇に立たれています「福岡市立 東福岡特別支援学校」(東区青葉)で1月26日(金)10:30~12:00「ひがしフェスタ」が開催され、山崎 博子さんと米倉 治美が出かけました。

会場の体育館前には「新鮮野菜販売会」の整理券をもらおうと大勢の人たちが並んでいて、人気の凄さを感じました。



同フェスタは高等部の作業発表会で、体育館に入ると7つの作業班が一致団結して作った沢山の製品が所狭しと並べられていました。



木工班のベンチ・イスは大盛況!

窯業班(お皿・茶わん・箸置き他)、手織り班(ポーチ・バック・小物他)、木工班(ベンチ・イス・ミニガーデンスタンド他)、工芸班(紙すき製品・和紙かご・ランプシェード他)、パソコン班(カレンダー・メモ帳・ポストカード他)、農耕班(大根・サツマイモ・薬物野菜)。生徒たちの一生懸命さが伝わってくる製品は「完売!」が出るほどの大人気! 私も目移りして、選ぶのが大変でした。

サービス班のコーヒー・紅茶・ジュース・クッキーセットなどカフェもありました。販売・カフェどちらの生徒たちも接客が丁寧で元気よく、とても素晴らしい授業発表会でした。



購入したお気に入りの作品(ベンチ含む)。



えこ

恵子児童館クラブの活動

井上 妙子

平成 21 年度より始まった『花あふれるふくおか推進協議会』による花育活動は、児童館クラブ員(小学 1 年生～6 年生)達で取り組んでいます。当初クラブ員は 20 名位でしたが、現在では 50 数名います。

活動日は毎月第 2 土曜日で男子の子が多く活動内容は、工作・キャンプ・弁当の日・お話会など多岐に渡り、花育活動もその一つです。「園芸福祉ふくおかネット」は花育活動に以下の活動をしました。

①平成 25 年度

【エコ鉢作り】

前月出来上がったエコ鉢にアクリルペイントで絵付けし、チューリップを植えました。

②平成 26 年度

【菜の花を育てて食べよう】

これは桜の根にじゃまされて、大きく育たず失敗。

③平成 27 年度

【ラデッシュを植えて食べよう】

植えた時期が 11 月の為 1 ヶ月後迄に育たず、葉をサラダとして食べました。

④平成 28・29 年度

【ハイビスカスローゼルでジャムを作ろう】

午前中小学 1 年生・2 年生で作り、クラッカーに付けて食べました。

午後から 3 年生～6 年生は「お泊りキャンプ」。

これは遊戯室で宿泊し、朝食のパンに塗って食べました。

児童館クラブ活動に参加・ご協力して下さった皆様に感謝致します。(敬称略)

◆花育活動 山崎・魚谷・川瀬・諫山・諸隈

◆花壇の手入れ 山崎・中村・永熊

(2 名は九州がんセンターの花壇メンバー)

◆その他活動 山崎・魚谷・國松・諸隈

※花壇の広さ 6m×3m=1 面 3m×3m=2 面



百花繚乱きれいに咲きました。



エコ鉢の絵付けに夢中です。



クラブ員の子ども達とパチリ！

『HAPPYを呼ぶ!』

プリザーブドフラワー・アレンジ

田中 節子

【日時】 1月19日(金) 14:00~16:00

【場所】 東区 東市民センター

【参加人数】 29名 【参加費】 1,500円

年の初めに今年一年のHAPPYを呼ぶ運は何か。プリザーブドフラワー・アレンジ講座の中にカラー占い。テーブルに包装したままのハートの器をセット、皆さん自由に座っていただきました。

器の揺れるガラスドームに入っている小さな花やガラスビーズなどの色が数種類あります。自分の器についているガラスドームの最初に感じたカラーで占ってみます。例えば、

ゴールド・・・金運、才能運（奇跡が起こる）

ブルー・・・仕事運（望む結論を出せる）

ブラック・・・潜在運（隠れた力を発揮）他5色

「あなたのHAPPYを呼ぶ運はどれでしたか」。この説明の後、作品作りが始まりました。取材に来られていた西日本リビング新聞社の記者さん、赤ちゃん連れの方も熱心に作品を作られました。

講座で難しかったところはワイヤリングとリボンワークだそうです。

皆さんの出来上がり作品は部屋を一周して見ていただきました。かわいいと並べて写真を撮っている方もいて、会話も弾み楽しい2時間でした。



イメージ画像



皆さまにHAPPYがたくさん訪れますように

～ 地域における園芸福祉 ～

濱崎 真人



講師の見本作品(写真1)

赤やピンクの紙をハート形に切って、妖精人形と共に飾ります。講師の先生の作品(写真1)を目標に、参加者の皆さんは一生懸命に取り組んでありました(写真2)。

なかでも一番苦労されていたのが、赤いリボンでチョウチョを作り、鉢全体の縁取りにする飾り付けです。リボンでチョウチョ形を作ることがなかなか出来ず、皆さん苦心されていました(写真3、4)。『須恵区』では、この「園芸」の他に、「フラワーアレンジメント」「落語」「押し花アート」「陶芸」を、今年度の福祉活動事業の一環として開催しました。

会場は公民館、朝10時から2時間程度、その後、昼食をとって、終了というスケジュールで、参加者は36名でした。昼食は、『須恵区』にお住いの栄養士の先生の指導のもと、調理ボランティアの方々が料理をされます。今回の食事は、麦ごはん、けんちん汁、鮭のムニエル、季節の野菜のお煮つけ、デザートはリンゴと、ボリューム満点。

参加対象者は60歳以上の方、元気な高齢者を目指し、明るい生活環境を提供することを目的に、町や須恵区からも助成

金が出ますので、参加者の負担は、食事代も含めて200円。

須恵町の人口は28,000人、福岡都市圏の一員として現在も人口は増加しています。「須恵」という地名は、古代の須恵器の生産に由来。坂本繁二郎画伯を世に送り出した人として知られる故・久我五千男氏の私設美術館として建てられた現在の「須恵町立美術センター久我記念館」(写真5)は、糟屋郡唯一の公立美術館でもあります。是非、足をお運び下さい。



(写真2)



(写真3)



須恵町立美術センター久我記念館(写真5)



(写真4)



新部会を立ち上げます！

- ◆ 園芸福祉ふくおかネットの活動をより多くの方々に周知・広報を目的に、園芸クラフトを愉しむ講座を開設します。
 - ◆ 新部会：広報部会園芸クラフト部「クローバー」
花や緑と触れ合いながらおしゃべりを愉しみ、ちょっと贅沢で大人な時間の過ごし方の提案や友だちや仲間づくりの「場づくり」をします。
 - ◆ 新部会の名称 園芸クラフト部 『♣クローバー』
 - ◆ 4月20日(金)スタート
 - ◆ 時間/10:30~12:30/講座 60分(随時受付)
 - ◆ 会場/あすみん・小会議室
 - ◆ 募集人数/10名 対象は一般・会員
 - ◆ 参加費/ひとり 700円(材料費 500円程度)
 - 1年間/6回 (2ヵ月に1回)
※1割を園芸福祉ふくおかネットに納める
※講師・スタッフへの交通費や謝礼等はありません。
 - 募集方法/あすみんHP、花便り、グリーンノートなど。
 - 講座内容は園芸福祉ふくおかネット会員(賛同部員)が活動している体験講座を基に実施し、会員同士の情報交換やスキルアップを図ることで、グリップキーキャンペーンなどの体験講座としても反映できると考えます。
- ※年間講座内容が決まり次第、お知らせします。お友だちやお知り合いの方に受講のお誘いをお願い致します。
- ◆ 講座内容会議/3月17日(土)11:00~あすみんにて「アットホームで楽しいクラフト講座」を合言葉に、広報部会園芸クラフト部 『♣クローバー』で決定します。
 - ◆ 期間/2018年4月~2019年3月の1年間を予定。反響が良ければ継続もあります。

園芸クラフト部『♣クローバー』

広報部会長	米倉 治美
園芸クラフト部長	山崎 博子
部員	田中 節子 井上 妙子 田浦 和月 濱崎 真人 島添 裕子



総会のご案内

5月20日(日)第15回 通常総会・実践事例発表会をアクロス福岡セミナー室1 (福岡市中央区天神1-1・2階)で開催致します。

ご多忙とは存じますが、日程調整の上是非ともご出席頂きますようご案内致します。詳細につきましては、後日ご案内いたします。

「国営 海の中道海浜公園 癒しのこけ玉体験教室のご案内」

5月4日(金/みどりの日)

5月5日(土/こどもの日)

体験時間/10:00~15:00

(昼休憩 12:00~13:00)

◆ 参加者/各日 60名

◆ 参加費/700円



スタッフは3月17日(土)の定例会で決めます。スタッフにはお弁当と交通費(一律1,000円)があります。



ジャケットを貸与から個人所有に変更しました！

イベント時に着用している園芸福祉ふくおかネットのネーム入りジャケット（写真参照）を貸与という形で、活動に参加された会員の皆さまへお渡ししておりましたが、「ネットの備品を預かって管理しておくよりも個人のものでないだろうか」「ジャケットに自分の名前を書きおきたい」などの要望があり、2月17日の定例会でジャケットを個人所有にするということになりました。園芸福祉ふくおかネットの財産として所有していたジャケットは、購入金額を大幅に値下げし、1枚2,000円で、そのまま個人の物としてお持ちいただけます。

ジャケットを着用される時は、園芸福祉ふくおかネットの活動時のみで、個人の活動や会員以外の着用はできません。ジャケット代は5月20日の総会時にお支払い下さい。よろしくお願い致します。



春の訪れ

黒瀬恵子

我が家の庭にクリスマスローズが咲きはじめました。淋しかった冬の庭から心弾む春の庭へと、景色が変わっていきます。クリスマスローズを育て始めたのは今から17年前、クリスマスローズを種から育てていた方から、苗を数本頂いたことがきっかけでした。苗を大切に育て、初めて花が咲いた時は嬉しくて、種を取り蒔きして増やしていきました。発芽した苗が花を咲かせるのに3年かかりますが、クリスマスローズの面白さは、親とは違った花が咲いたりするところです。最初の頃は手を掛けて苗を育て管理していましたが、その内、手を掛けなくても増えていくことが分かり、今では自然に育った苗を植えたい場所へ移植するようにしています。庭に咲くクリスマスローズが、今年も春の訪れを告げるように咲いています。





事務局からのお知らせ

▶ 園芸福祉ふくおかネット定例会

- 毎月/第3(土) 15:00~17:00
- ところ/福岡市NPO・ボランティア交流センター「あすみん」天神クラス4階
事業活動報告と計画、会員の活動状況、園芸福祉活動の情報交換、作品紹介など。
- 定例会の後は「ちょっと一杯!」へ。
楽しい会話が弾む飲ニケーションで盛り上がってま〜す。気軽にお越しください。

▶ 「園芸福祉の庭」定例作業日

- 定例作業/毎月・最終日曜日 10:00~12:00
- ところ/アイランドシティ中央公園
園芸福祉の庭（福岡市東区香椎照葉4丁目）
活動内容は花壇の維持管理（花がら摘み、除草、花苗植込み・撤去、水やり、施肥など）。
作業後は茶話会。活動近況や花の育て方・土づくり、園芸福祉に関するプチ勉強会など。
- 豪雨や気象災害などが予想されるときは中止、次の日曜日に変更です。（小雨決行）

▶ 入会手続きのご案内

- 入会を希望される方は事務局（下記に掲載）にご連絡下さい。その後下記の口座に年会費2,000円をお振り込み頂き、入金確認後に入会となります。
- 活動と一緒にされているお仲間やお友だちなどで、まだ園芸福祉ふくおかネットの会員でない方がいらっしゃいましたらお気軽にお誘いください。
- お振り込み先/ 西日本シティ銀行 小笹支店
店番 222 普通預金
口座番号 1025817
園芸福祉ふくおかネット 代表 谷口 博隆

● 園芸福祉ふくおかネット事務局 ●

〒810-0033 福岡市中央区小笹 1-9-25

TEL : 090-8626-1586 (黒瀬)

FAX : 092-521-6247

E-mail : engeifukusi.fukuoka@hya.bbiq.jp

URL : <https://www.engeifukusi-fukuoka.net/>

花便り 第47号 平成30年3月20日

編集・発行/ 園芸福祉ふくおかネット